



山口県内の経済情勢

令和5年10月25日

財務省中国財務局
山口財務事務所



ざいちゅう

本調査についてのお問い合わせ先：
財務省中国財務局山口財務事務所
財務課長 石田
TEL：(083)922-2190(代)

HP掲載先：
[https://lfb.mof.go.jp/chugoku/yamaguchi/
chousatoukei/jouseitop.htm](https://lfb.mof.go.jp/chugoku/yamaguchi/chousatoukei/jouseitop.htm)



調査結果は、こちらからも
確認できます。

1. 総論

【総括判断】

「県内経済は、緩やかに回復しつつある」

項目	前回（5年7月判断）	今回（5年10月判断）	前回比較
総括判断	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→

（注）5年10月判断は、前回7月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

（判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている。雇用情勢は、持ち直している。

【各項目の判断】

項目	前回（5年7月判断）	今回（5年10月判断）	前回比較
----	------------	-------------	------

個人消費	緩やかに回復しつつある	緩やかに回復しつつある	→
生産活動	持ち直しつつある	持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている	↘
雇用情勢	持ち直している	持ち直している	→

設備投資	5年度は前年度を上回る見込み	5年度は前年度を上回る見込み	→
企業収益	5年度は増益見込み	5年度は増益見込み	→
企業の景況感	「上昇」と「下降」が拮抗	「下降」超となる	↘
住宅建設	前年を上回る	前年を上回る	→
輸出	前年を上回る	前年を上回る	→

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが県内経済の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

2. 各論

■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

百貨店・スーパー販売及びドラッグストア販売は飲食料品など、家電大型専門店販売は冷蔵庫などが堅調であることから、前年を上回っている。

コンビニエンスストア販売はデザート類など、ホームセンター販売は園芸用品などが低調であることから、前年を下回っている。

また、乗用車販売は、自動車生産台数の回復傾向が続いており、普通乗用車などが好調であることから、前年を上回っている。

(主なヒアリング結果)

- 暑い日が続き、前年よりもアイスクリーム、飲料、素麺などがよく売れているほか、人流の回復による行楽需要の高まりを受け、バーベキュー用の焼肉セットや外で手軽に食べられるおにぎりなどの売上が好調である。(スーパー)
- 猛暑の影響により、スポーツドリンクなどの飲料の需要が大きく増えているほか、10月の酒税の税率改正前には、税率の引き上げ対象である第3のビールの駆け込み需要がみられた。(ドラッグストア)
- 節電への意識は高く、省エネルギー性能の高い冷蔵庫やエアコンへの引き合いが強くみられている。(家電大型専門店)
- 猛暑の影響や、鶏卵などの原材料費の高騰による商品価格の引き上げにより、クリーム系のデザート類の需要が低調となっている。(コンビニエンスストア)
- 暑い日が続いたことにより屋外作業が敬遠され、園芸用品の売上が低調となっている。(ホームセンター)
- 自動車生産台数の回復傾向が続いていることから、自動車登録台数が伸びている。また、モデルチェンジを行った車種は価格が上がったものの、引き続き強い引き合いがみられている。(自動車販売店)
- 新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行後初めての夏休み期間は、家族旅行を中心に旅行需要が好調であった。行楽シーズンの旅行予約も好調に推移しており、旅行需要は高い状況が続いている。(旅行代理店)

■ 生産活動 「持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている」

化学は、医薬品の増加に加えて化粧品向けで需要が堅調なものの、海外のインフラ向けなどで需要が低調なことから、おおむね横ばいとなっている。

輸送機械は、自動車で半導体不足の影響が続いているほか、鉄鋼は、建材向けなどで需要が低調なことから、減少している。

- 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行して以降、外出頻度の高い状態が続いていることから、化粧品向けの需要が堅調に推移している。(化学)
- 依然として中国経済が回復していない影響を受け、海外のインフラ向けで需要が低調となっている。(化学)
- 半導体不足の影響は緩和しつつあるものの、引き続きその影響は続いているほか、台風接近に伴い工場を停止した影響もあり、生産量が減少している。(輸送機械)
- 人手不足や資材価格の高騰による建設需要の低迷に伴い、建材向けなどの需要が低調なことから、生産量が減少している。(鉄鋼)

■ 雇用情勢 「持ち直している」

有効求人倍率は、引き続き高めに推移している。

新規求人数は、卸売業・小売業などで減少しており、前年を下回っている。

- 募集するものの応募がないなど、人手を確保することができないことから、現在の従業員で対応できるよう、客室の稼働率を抑えている宿泊施設もある。(宿泊)
- 求人増加に落ち着きがみられているが、これは新型コロナウイルス感染症の影響が薄らぎ、求人が増加していたことの反動によるもので、人手不足の状況は依然として続いている。(公的機関)

■ 設備投資 「5年度は前年度を上回る見込み」

- 製造業では、その他の輸送用機械などで減少するものの、電気機械、金属製品などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、小売などで減少するものの、運輸・郵便、金融・保険などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- 複数年の計画で生産能力の増強を進めており、工場の新設や、新規生産設備の導入を予定している。(電気機械)
- 輸送に使用する代替船(自社船)の建造や、新事業への進出を予定している。(運輸・郵便)

■ 企業収益 「5年度は増益見込み」

- 製造業では、情報通信機械などで減益となるものの、化学、パルプ・紙等などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。
- 非製造業では、運輸・郵便などで減益となるものの、情報通信、学術研究・専門・技術サービスなどで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超となる」

- 企業の景況判断BSIは、「下降」超となっている。なお、先行きは「上昇」超に転じる見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を上回る」

- 新設住宅着工戸数で見ると、貸家、持家などが増加していることから、前年を上回っている。

■ 輸出 「前年を上回る」

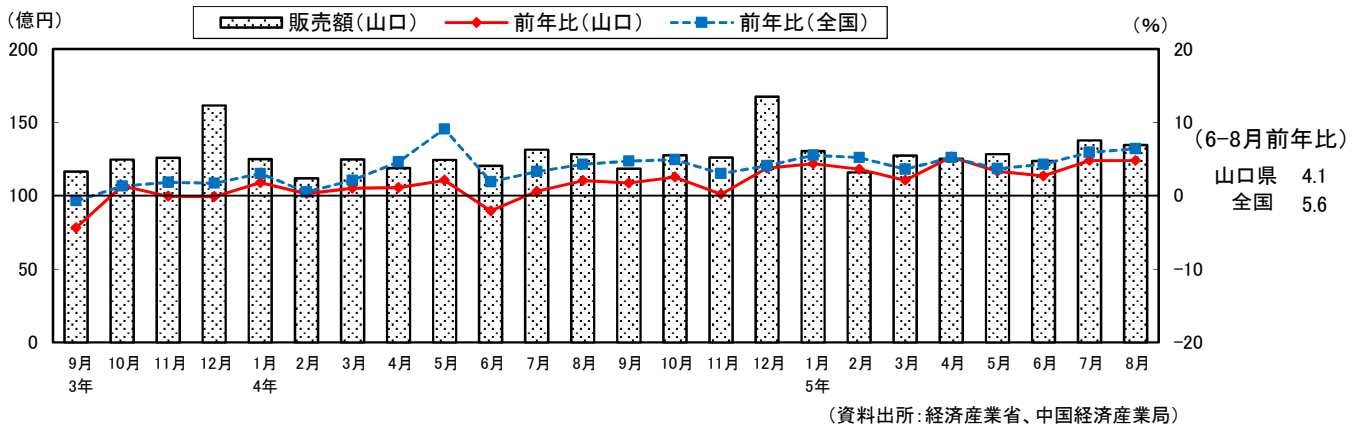
- 輸出(円ベース)は、自動車、一般機械などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、北米、大洋州などで増加している。
なお、輸入(円ベース)は、石炭、原油及び粗油などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、中東、アジアなどで減少している。

資料編

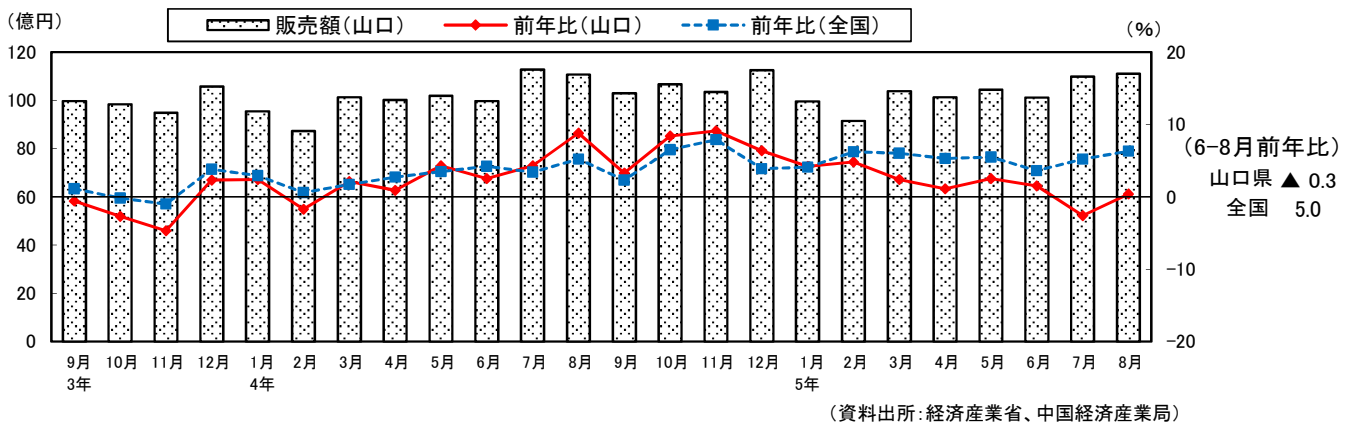
目次	ページ
1. 個人消費	1
2. 生産活動	3
3. 雇用情勢	4
4. 設備投資	5
5. 企業収益	6
6. 企業の景況感	6
7. 住宅建設	6
8. 輸 出	7

1. 個人消費 緩やかに回復しつつある

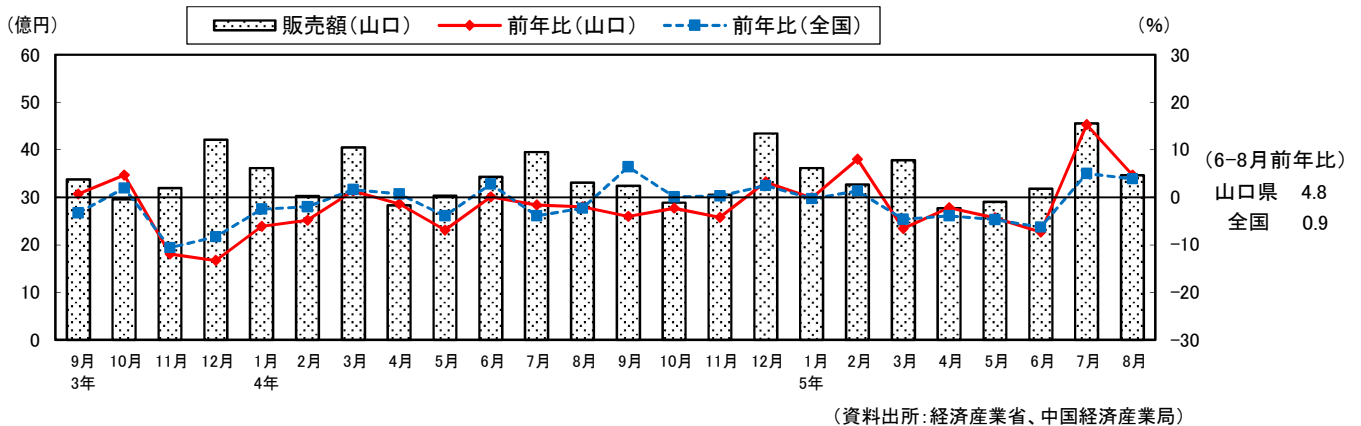
(1) 百貨店・スーパー販売額(全店舗)



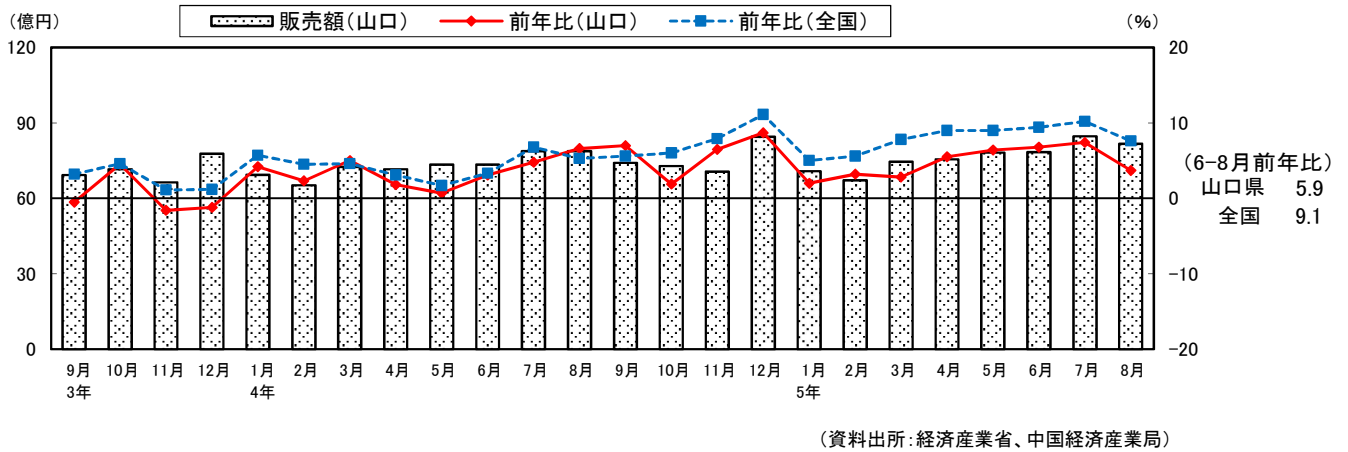
(2) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



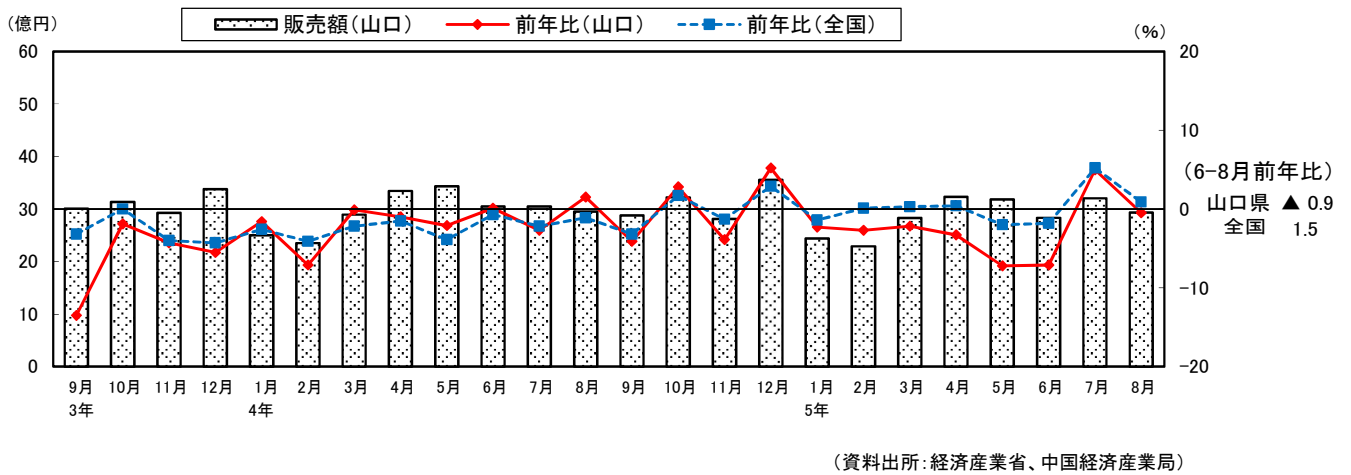
(3) 家電大型専門店販売額(全店舗)



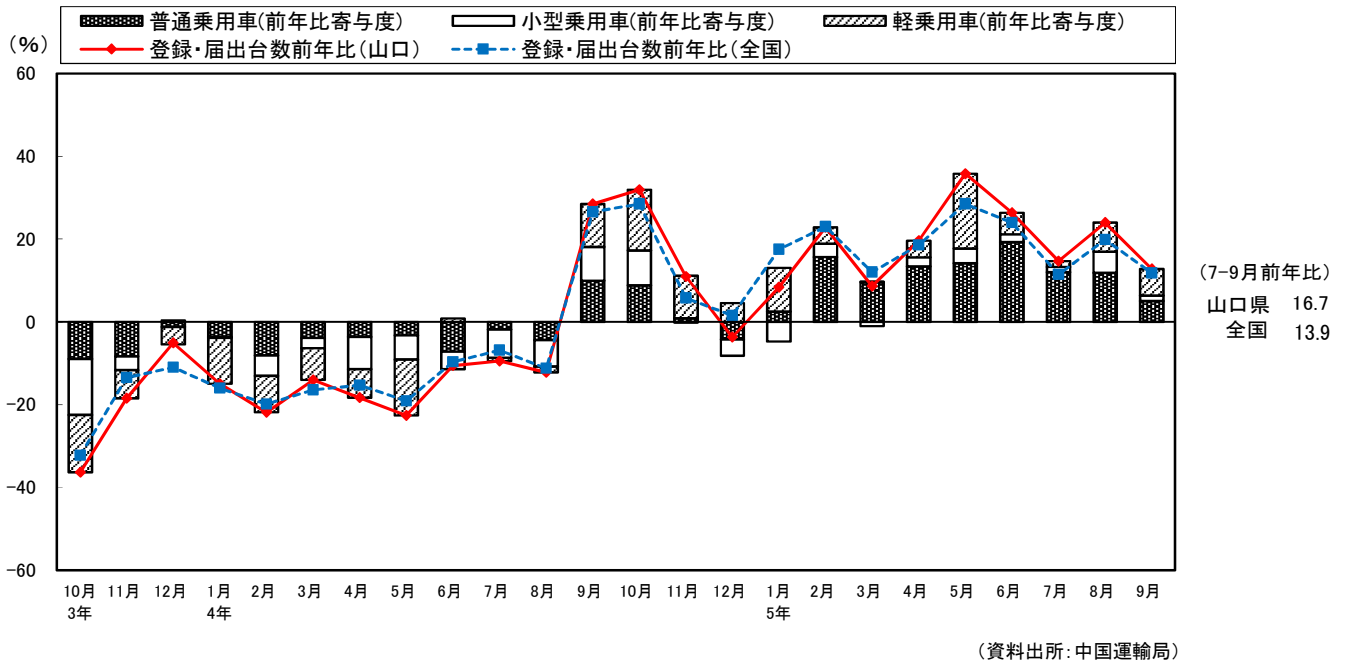
(4) ドラッグストア販売額(全店舗)



(5) ホームセンター販売額(全店舗)

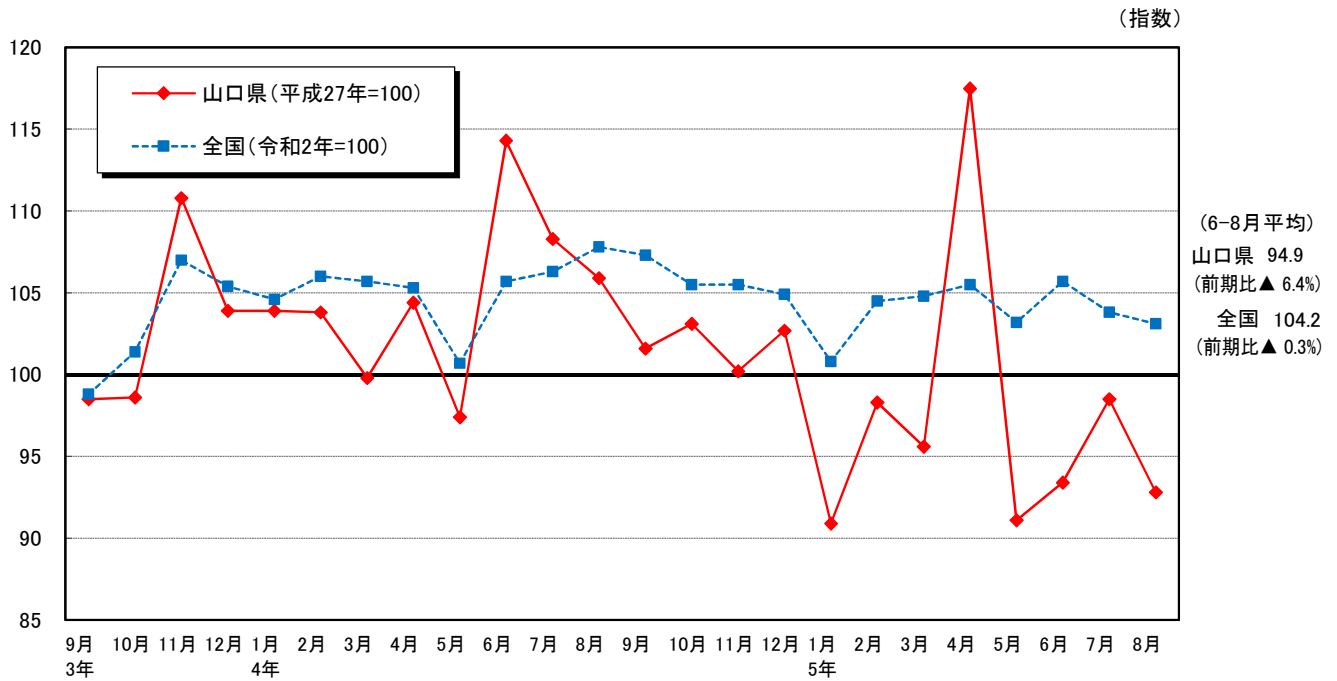


(6) 乗用車販売(新車登録・届出台数)



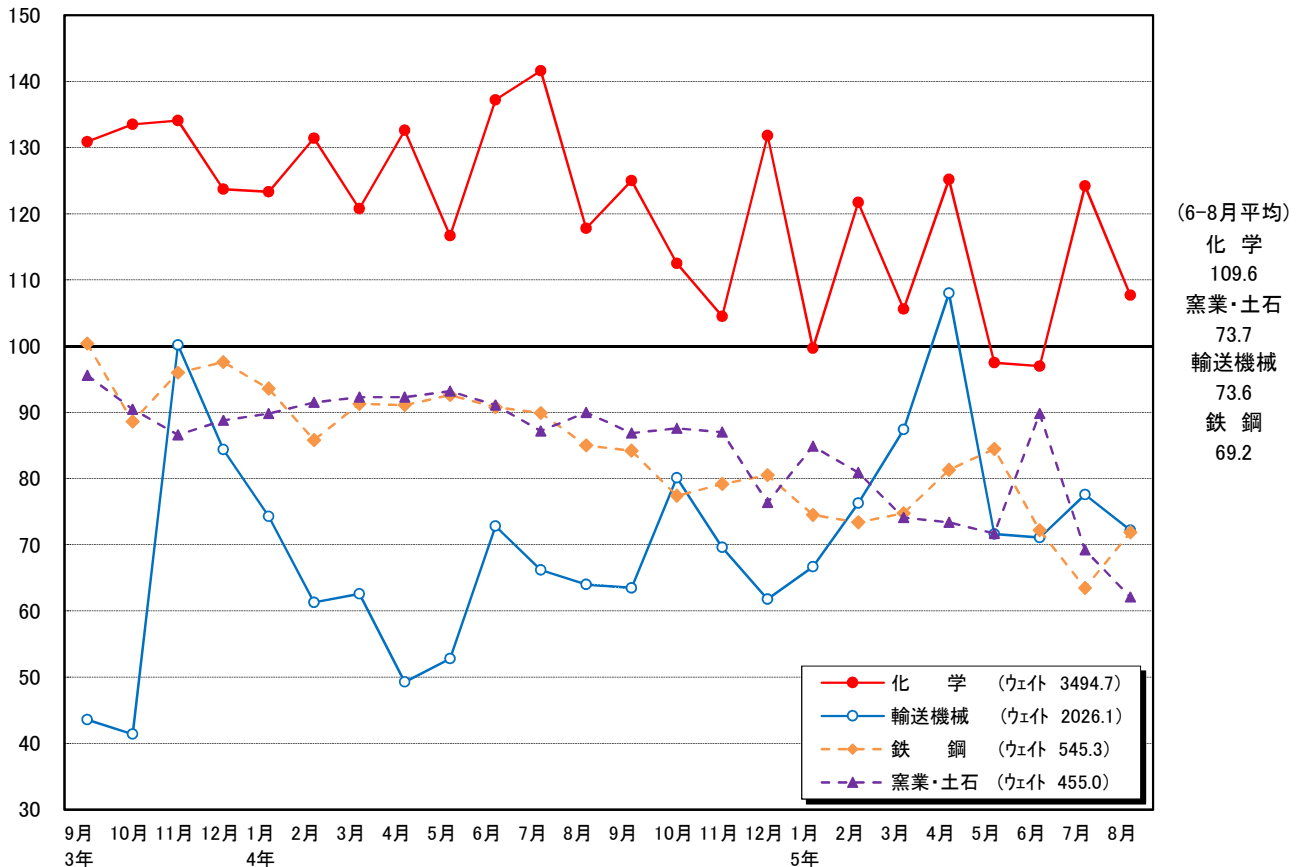
2. 生産活動 持ち直しに向けたテンポが緩やかになっている

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)



(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

(指数) (平成27年=100)

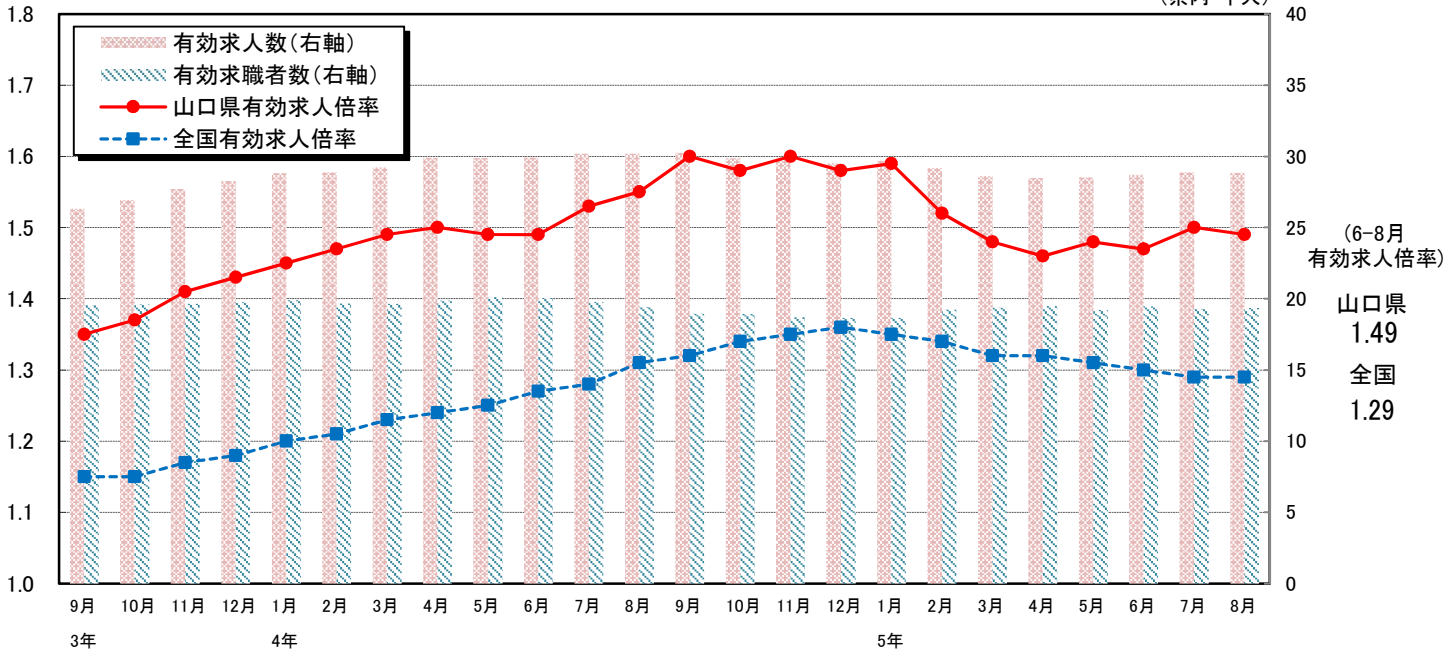


3. 雇用情勢 持ち直している

(1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)

(倍)

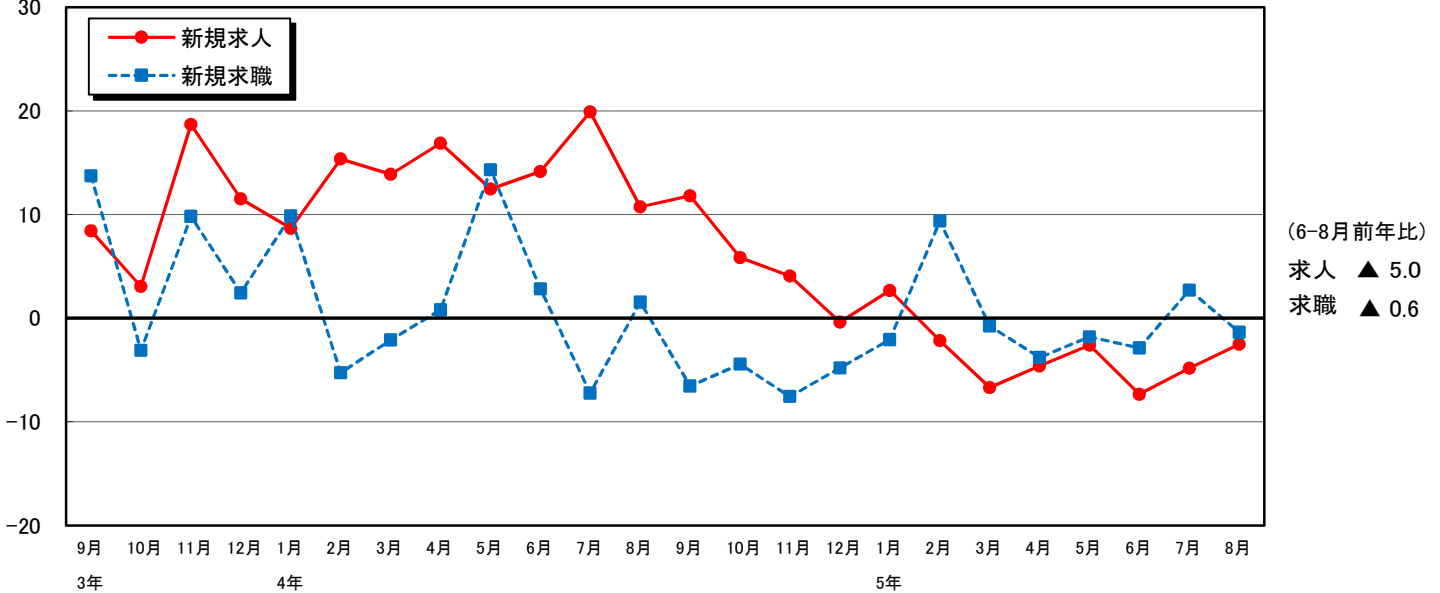
(県内・千人)



(資料出所: 厚生労働省、山口労働局)

(2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比

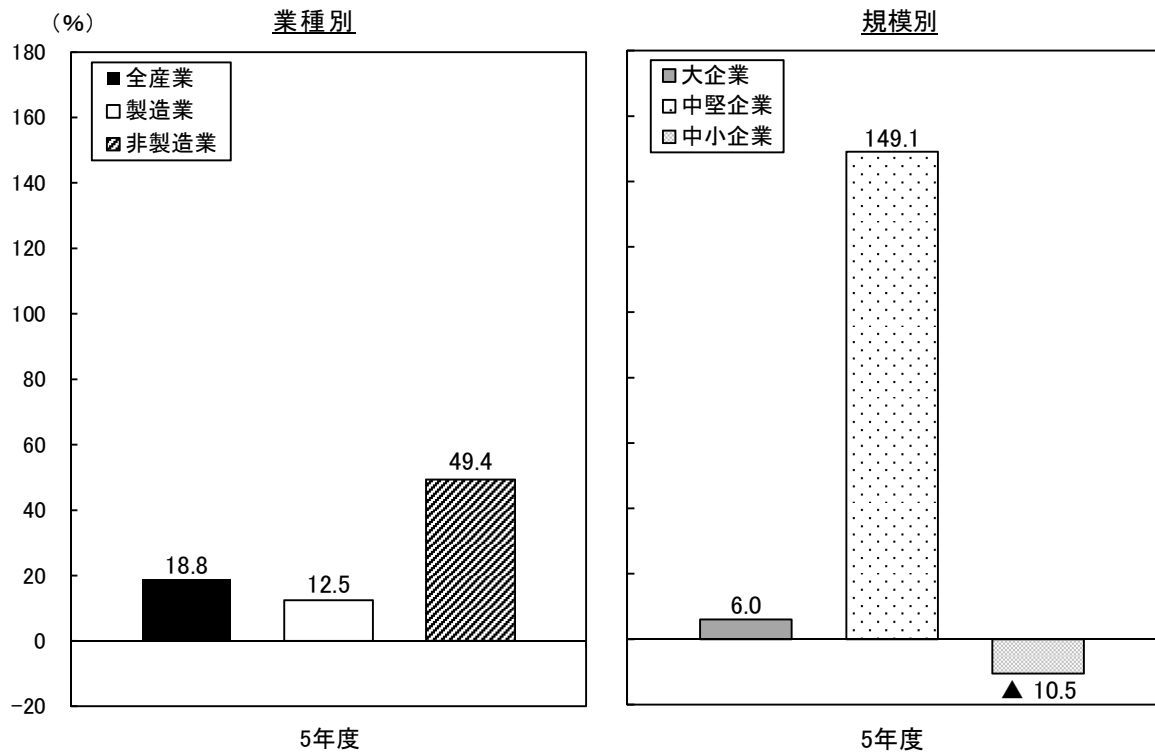
(%)



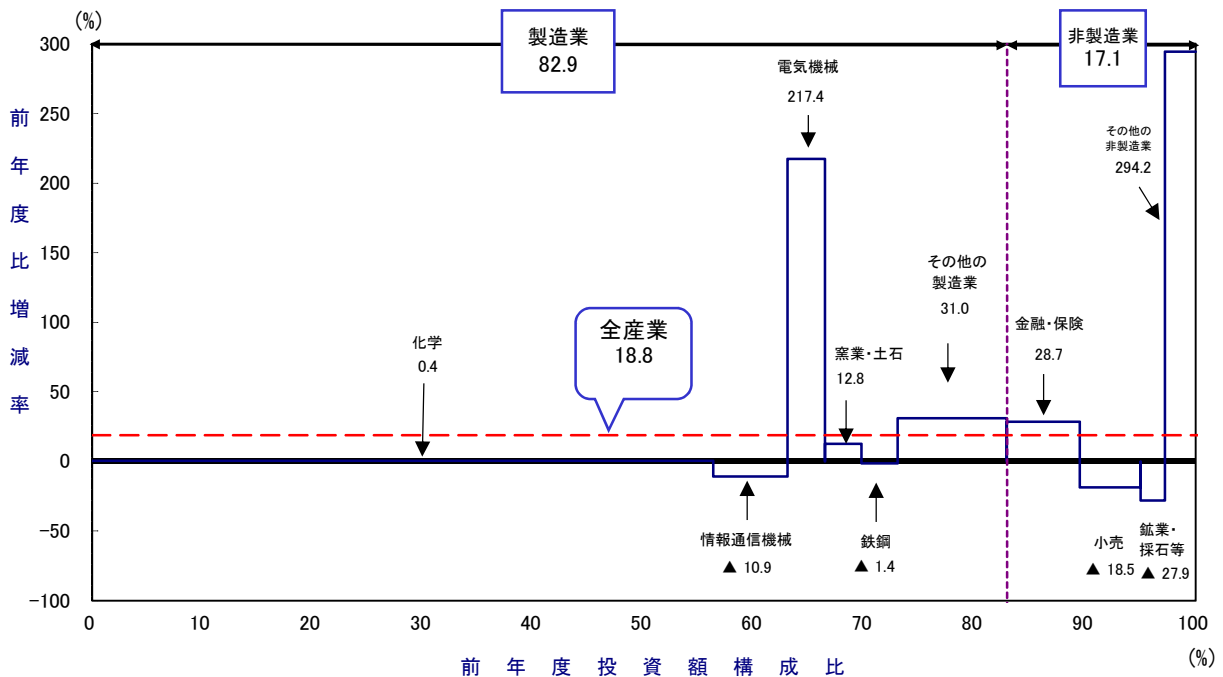
(資料出所: 山口労働局)

4. 設備投資 5年度は前年度を上回る見込み

(1) 設備投資額(前年度比)



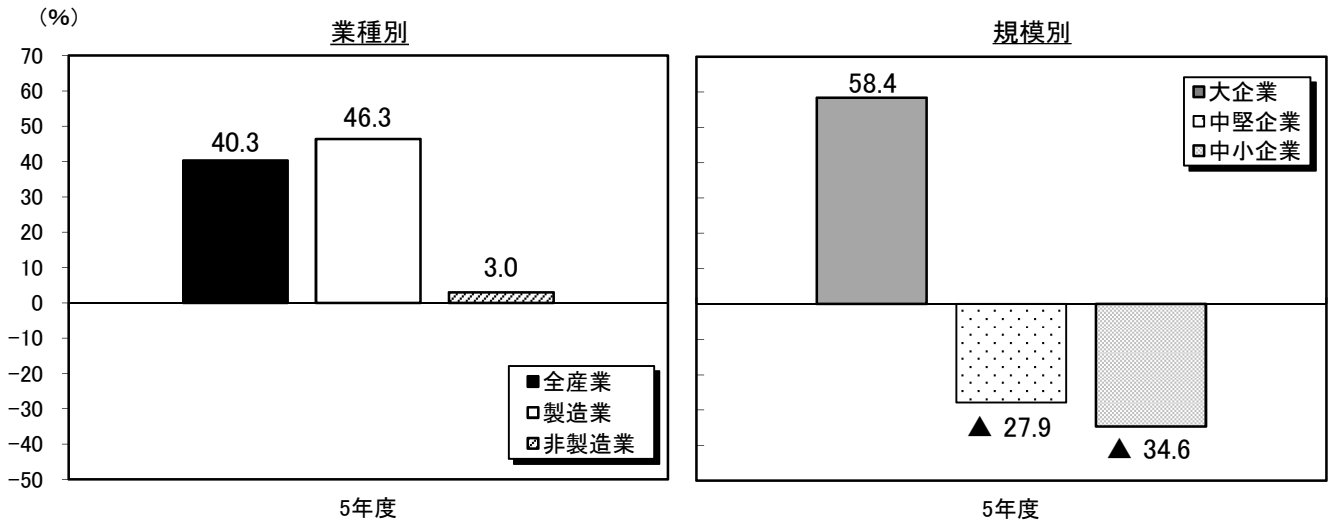
(2) 主要業種別(5年度)



(資料出所: 山口財務事務所)

5. 企業収益 5年度は増益見込み

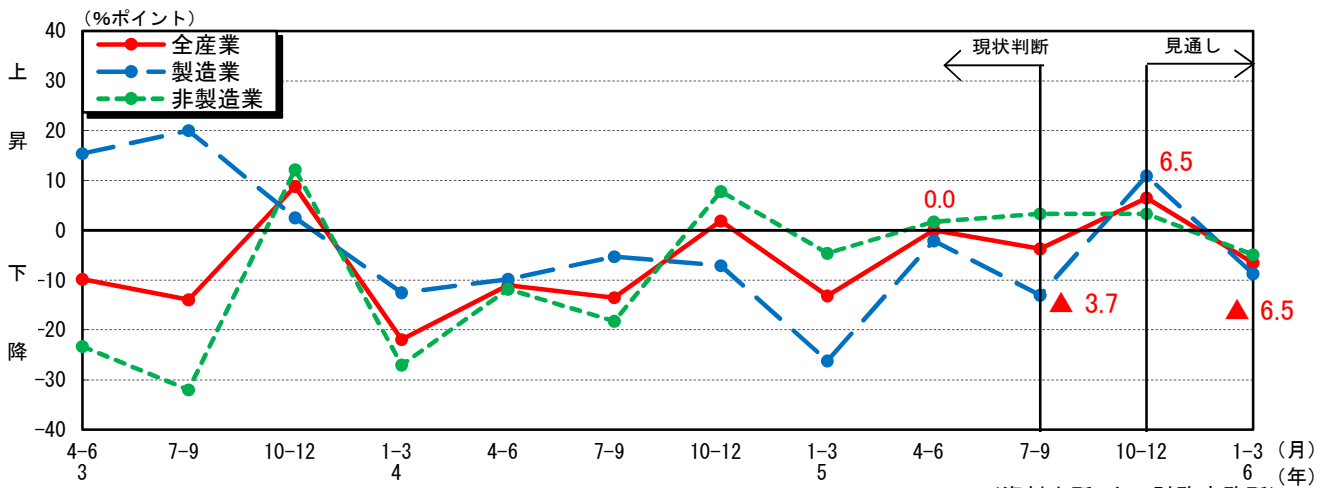
経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く:前年度比)



(資料出所: 山口財務事務所)

6. 企業の景況感 「下降」超となる

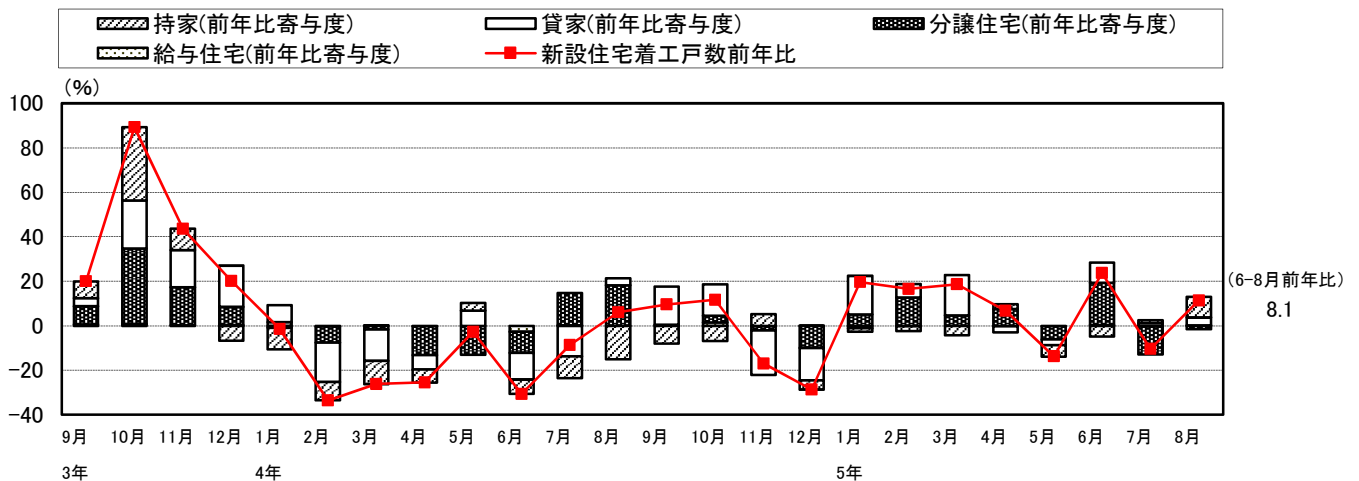
景況判断BSIの推移(原数値)(BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



(資料出所: 山口財務事務所)

7. 住宅建設 前年を上回る

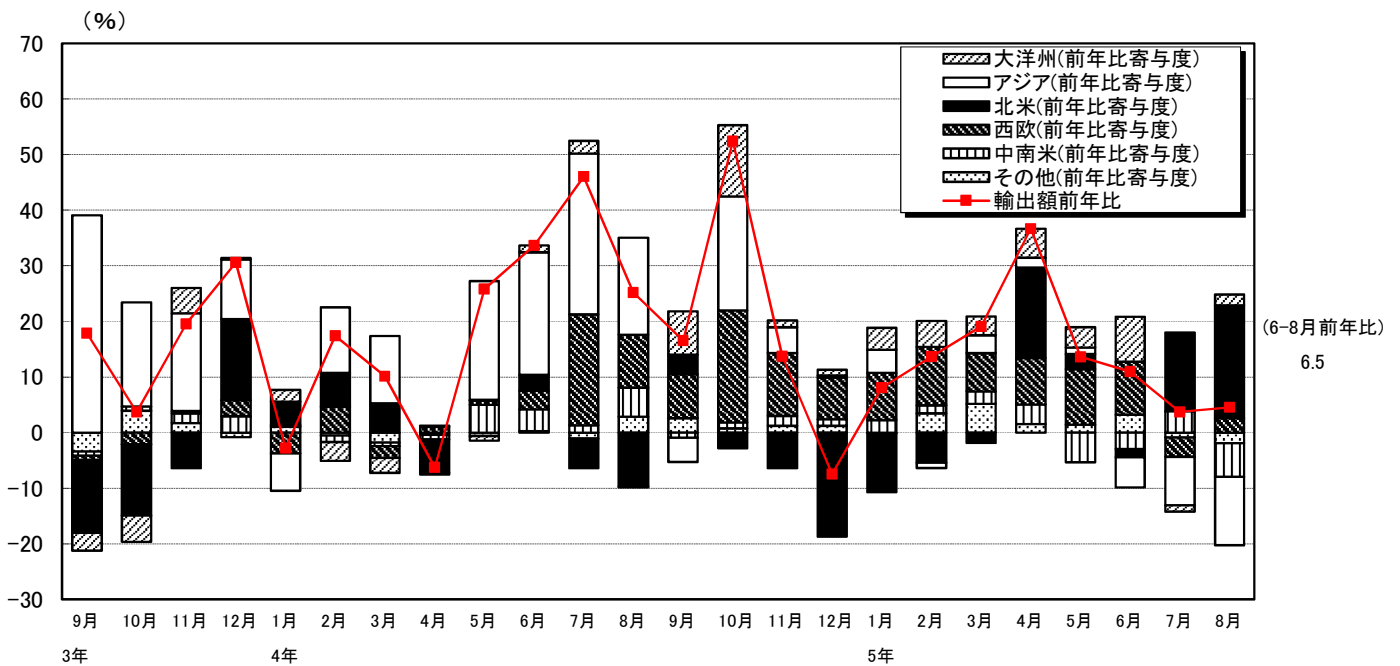
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

8. 輸出 前年を上回る

輸出(円ベース)



<参考>

輸入(円ベース)

